

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 平成27年度第3回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」平成27年度第3回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第11回企画・運営委員会）を平成27年11月21日（土）に、リーディング産業展に併せ、四日市ドームで開催しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良一（帝京大学大学院 経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学大学院 地域イノベーション学研究科教授、スマートキャンパス部門長）

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）
※生駒委員はご欠席

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・ソリューション社 事業開発センター地域エネルギー担当参事）

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室長）

濱田 康資（株式会社百五銀行 取締役営業渉外部長）

※濱田委員はご欠席（代理：営業渉外部 コンサルティング課長 滝川 充様）

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 営業本部営業推進部 大阪法人第一営業推進室 担当部長）

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子OPV 事業推進室付け 国立研究開発法人理化学研究所産業連携

本部連携推進部 実用化コーディネーター）

藤田 真人（富士通株式会社 三重支店長）

＜推進会議の進行概要＞

会議の進行概要は、以下のとおりです。

開会 11:30

議題

（1）新エネルギービジョン改定版（仮称）
＜最終案＞に係る意見交換

閉会 12:40



（事務局からの説明）

事務局より、三重県新エネルギービジョン改定版（仮称）＜最終案＞について、説明を行いました。

（新エネルギービジョン改定版（仮称）＜最終案＞に係る意見交換）

続いて、並河委員長の進行により、新エネルギービジョン改定版（仮称）＜最終案＞に係る意見交換を行いました。

※委員からの主な意見

○取組方向1の目標値である新エネルギーの導入量は、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス発電、バイオマス熱利用、中小水力発電の6種類の新エネルギーを対象としているが、コージェネレーション、燃料電池、次世代自動車、ヒートポンプの4種類の革新的なエネルギー高度利用技術の導入量も参考に併記した方が分かりやすい。

○エネルギー地産地消プロジェクトに、浜松市など自治体の新電力の動きを事例として追記してはどうか。

○スマートメーター等による電気使用量の見える化は、あくまでの手段であり、具体的な省エネ行動につなげていくことが重要。

○環境・エネルギー関連産業の育成と集積に向けて、企業間の枠組みづくりが重要。

○計画について、県民の方に興味を持っていただくため、図表を織り交ぜた数ページの概要版の作成が必要。



次回（第4回）の開催予定

次回の推進会議については、平成28年2月頃に行う予定です。